

● Harmonical Concert

meiji univ.

71st

明治大学校歌

◇ 作詩 児玉花外
◇ 作曲 山田耕作

1. 白雲なびく駿河台眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘文化の潮みちびきて遂げし維新の榮になふ
明治その名ぞ我等が母校明治その名ぞ我等が母校
2. 権利自由の揺籃の歴史は古く今もなほ
強く光に輝けり独立自治の旗翳し高き理想の道を行く
我等が健児の意気をば知るや我等が健児の意気をば知るや
3. 霊峰不二を迎ぎつつ刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望ありいでや東亜の一角に時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ正義の鐘を打ちて鳴らさむ



クラブ紹介

明治大学ハーモニカ・ソサエティーは大正8年、故佐藤時太郎氏によって創立され、神田YMCAに於て第1回目の定期演奏会を開催、以後戦時の止むなき事情により一時中断しましたが、毎年幾多の卒業生を送り出し、時と人は変わっても音楽という共通の趣味を持ったクラブ員の気持は変わらず常に学生らしい態度と演奏は各方面の絶賛を拍しています。ハーモニカ界における実績は斯界の最高峰であり、全日本ハーモニカ・コンクールにおいても5年間連続優勝を逃げるなど、母校明治を代表して放送にステージに活躍しています。レパートリーもクラシックから歌謡曲まであり、中でもラテン、軽音楽を最も得意としている。



明治大学ハーモニカ・ソサエティー

第 71 回
定期演奏会

藤時太郎氏
定期演奏会を
たが、毎年
う共通の趣
度と演奏は
実績は斯界
いても5年
ステージに
曲まであり、

1966年6月4日(土) PM6:00 神田共立講堂



部長
北島 忠男

本日ここに明治大学ハーモニカ・ソサエティー第71回定期演奏会を盛会裡に開催しえましたことを心から御礼申し上げます。

わがハーモニカ・ソサエティーも創立以来47年目を迎えました、この間30数年の永きに亘って部の発展のため御尽力賜りました林 久吉博士が昭和40年度を最後として部長の席を去られることになりました。林博士は明治大学における各種音楽団体の部長を歴任され、その御功績にはかり知れないものがございます。今後は明治大学名誉教授として部のためにも引つづき御指導いただけるわけですが、永年に亘る御苦勞に對しまして心から感謝申し上げる次第でございます。

昭和41年度より不肖私が部長としての責をお引受けすることになりましたが、音楽を通した学生諸君の情操の涵養と人格の陶冶のため、微力ながら勤めて行く所存でございます。

本日ここに御来場の皆様におかれましても、わがハーモニカ・ソサエティーの今後の発展のため、いっそうの御支援と御鞭撻を賜りますよう御願ひ申し上げ、御挨拶にかえさせていただきます。

Message

太田黒、佐伯両部長のあとをついで、私が第三代目の部長となったのは昭和8年4月のことであるから、私は創立後満47才の年齢に達したハーモニカ・ソサエティーの部長として満33年の歳月を経過したこととなるが、その間ソサエティーに寄与するところが無かったにも拘らず、部員諸君は終始部長の心を心として、音楽の研究を通ずる高尚な趣味の養成と、情操の涵養に精進されたことを感謝する。

さて、私は大学の定年制の規定に従って、本年3月31日を以て専任教授の地位を去ることとなったので、これを機会として部長の地位を去ることとなったので、新進気鋭の士、商学部教授商学博士北島忠男君を最も適任者として推薦したところ、部員一同了とせられ、今後は北島部長と共に発展の道に邁進する決意を示されたことは、ソサエティーの前途に新なる光明を添えるかの如く感ぜられ欣快とするところである。

30余年ソサエティーと共にあった私は、今部長の地位を去るとはいうものの、心の中では永久にソサエティーの友としてその大なる前進、発展を祈るものであって、永い間ソサエティーの発展に御協力下さった聴衆の方々の御厚意を感謝すると共に、部長、部員、先輩各位の一層の御教導御援助を御願ひ申し上げます、御別れの言葉といたします。

前部長 林 久吉

明治大学ハーモニカ・ソサエティーは大正8年に創立されて、今年で丁度47年目になりました。時と人は変わっても音楽という共通の趣味を持ったクラブ員の気持は変わるものではなく、戦前から戦後の現部員に至るまで一つの大きな流れとなって、力強く受け継がれてまいりました。現在70余名の部員を数え連日練習を重ねておりますが、その日頃の成果を今夕この演奏会に於て、発表する機会を得ました事は、私達部員の喜びとするところです。尚、今回の演奏会は第三部に特集として「ハーモニカ・世界の夜明け」を企画しました。これは世界の自然の一日を音楽を通してながめたものです。

未熟な演奏でございますが、熱意を傾けて演奏する私共の音楽が何らかの形で、皆様方の心にとどまる事が出事ならば幸いと思います。最後にこの演奏会の為に賛助出演して下さいましたデューク・エイセスの皆様、並びに会場整理に当って下さいました実務珠算部の方々、御多忙にも拘らず御来場下さいました皆様に心から御礼申し上げます。今後共私達の成長と発展の為宜しく御指導、御鞭撻下さいますよう御願ひ申し上げます。

明治大学ハーモニカ・ソサエティー部員一同

Mes



顧問
川口 章吾

吾が明治大学ハーモニカ・ソサエティーも、71回の定期演奏会を開くに至ったことを、諸君と共に心から祝福するものであります。

多彩なプログラムのうちで、私の関心をもつのは何と云っても第一部のクラシック部門であります。

伝統ある明大ハーモニカ・ソサエティーの誇りとしては、この第一部がどのように演奏されるかということに主力がそそがるのではないかと思われるのであります。

シュトラウスやリストの名曲が、メンバー諸君の新しい感覚によってどの様に表現されるかまことに楽しいものであります。

メンバー諸君の健在を切に祈ってやみません。

Message

明治大学ハーモニカ・ソサエティーが第71回定期演奏会を催されます事は、四大学ハーモニカ・コンサート実行委員会としましても喜びとするところであります。

貴クラブには日頃より、四大学ハーモニカ・コンサート及び全日本学生ハーモニカ連盟に大なる貢献をいただき、紙上をもってお礼申し上げます。ここに、学生バンドとしてももちろん学生ハーモニカ・バンドとしましても最古の伝統を誇ります貴クラブが、ハーモニカの持味を十分に生じたユニークな演奏をする明治大学ハーモニカ・ソサエティーの発展を期すとともに今後の皆様の御支援をお願い致します。

四大学ハーモニカ・コンサート実行委員会

野山の緑が一段と鮮やかになって参りましたこのよき日に、貴明治大学ハーモニカ・ソサエティーの第71回定期演奏会を開催されますことを我々マンドリン倶楽部一同心からお慶び申し上げます。貴クラブが音楽に於て常に意欲的な活動をされ、その発展、普及に大きく寄与されておられますことは、我々同じ道を目指す者にとりまして非常に心強く感じます。

又、古き伝統を発展途上に掲げ、厳しい練習に屈せず、若々しくそれに没頭する精神は我々倶楽部に特に同大学として、ライバル意識を高めさせること大であります。

貴クラブとは古くからのつき合いです、今後も音楽の発展向上の為にお互いに励まし合っていこうではありませんか。それでは最後に本日の演奏会が大成功に終えることを信じ、お祝いの言葉とさせていただきます。

明治大学マンドリン倶楽部

PROGRAM

Section I 古典音楽

1. 軽騎兵序曲 F. スッペ
2. 春の聲 J. シュトラウス
3. 組曲『道化師』 D. カヴァレフスキー
4. 『ハンガリー狂詩曲』第2番 ... F. リスト

Section II ハーモニカ・カルテット ギター合奏

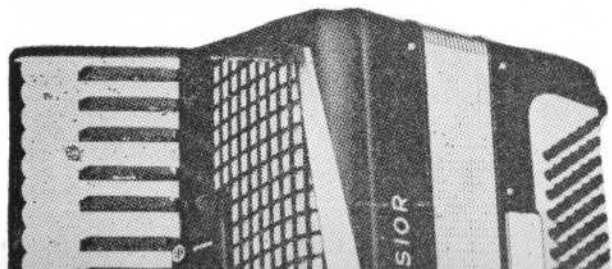


1. チャチャチャ・フラメンコ
2. Magic in the Moonlight
3. そよ風と私
4. 恋のメキシコ

etc.

世界の名器エキセルシャー・アコーディオン

▶各種カタログ進呈◀



楽 器 と 楽 譜

谷口楽器

Section III 世界の夜明け

1. タンゴ・夜明け
2. キャラバン
3. ラ・メール
4. 真珠採りのタンゴ
5. ジャングルドラムス
6. 踊り明かそう

etc.



— Guest —

デューク・エイセス

- Dry Bones
- Sixteen Tones
- A列車で行こう

etc.

中華食堂

明 大 軒

時計・貴金属・メガネ

竹内時計店

明大教科書指定販売店

駿河台下

笠原書店

Section I

Explanation

■ 古典音楽

指揮 坂田 隆 司
司会 奥 川 清 美

1. 『軽騎兵』序曲

作曲 フランツ・フォン・スッペ 編曲 石川 登

このオペレッタはスッペが46歳の時、今日の言葉で言えば流行作曲家として盛んにオペレッタを創り活躍していた時代の作品です。この年1866年の3月に初演されましたが、スッペはこの作品の中にハンガリーに古くからある舞曲の形チャルダッシュ等をかりて、華やかな軍人生活を描いた軽快な物語です。つぼを得た軽快な曲調が人の心を捉えます。

20世紀後半の今日では、アメリカで興隆したミュージカルスが人々に大変アピールしていますが、19世紀の後半から今世紀の初め、ミュージカルスの先輩にあたるオペレッタが——日本では喜歌劇と名付けていますが——ウィーンを中心に大変もてはやされました。悲劇的なドラマ、重厚な音楽の作品が多いオペラと対称的に、オペレッタは喜劇的なストーリーと、軽妙洒落な味を持っていて、これを綴る音楽も減法楽しいムードをふんだんにまきちらすのです。ワルツ王ヨハン・シュトラウス二世の最高傑作である「こうもり」をはじめ、数多くのオペレッタが生まれ、また作家もすぐれた人達が現われました。「軽騎兵」序曲でよく知られるフランツ・フォン・スッペは、シュトラウス二世と同時代にやはりウィーンで盛んにオペレッタを作曲した人です。1820年生まれですからシュトラウスより5歳年長、そして1895年74歳の生涯を閉じました。その生涯に作曲したオペレッタは100曲をこえると言われています。

2. 組曲『道化師』

作曲 ディミトリ・カヴァレスキー 編曲 甲斐 靖文

この曲は、ソビエトの現代作曲家カバレフスキーが1935年、34歳の時に書いた児童劇「発明化と道化師たち」のための附随音楽から演奏会用の組曲としたもので、組曲としての初演は1940年にレニングラードで行なわれている。

ディミトリ・カバレフスキー（1904年）はレニングラードの生まれでモスクワ音楽院で主にミヤスコフスキーに作曲を学んだ、彼の作品はどれも親しみやすく明快軽妙、ユーモアがあって、ソ連では演奏される事が極めて多い。組曲「道化師」は全10曲の小品を集めたもので、劇が田舎まわりの喜劇一座の生活を描くだけに、楽しさがほとばしり出るような活気とペースにみちみちた音楽である。

①プロローグ うきうきとした行進風の曲で、アレグロ・ヴィヴァーチェ、木琴が活躍して鋭い響きを生んでいる。喜劇一座の登場とでもいった曲。

②ギャロップ 道化師の踊る軽快な舞曲、プレスト・テンポのはやい2拍子の舞曲で、道化師の大きくとぶ足どりが巧妙に表現される。

③パントマイム 道化師のこっけいな動きに対する重々しい行進曲風のものです。

④間奏曲

④スケルツォ 軽妙かつ爽快な動きの曲です。形式はロンド風でふたつのトリオをはさんでスケルツォが飛びはねつつ反復されます。

⑤エピローグ 終幕のはなやかな音楽は明るい序奏にはじまり、プロローグによる行進曲風のテーマがしだいはつらつと、にぎやかな様相をしめしてクレツェンドしていきます。快調な終曲です。

東都随一を誇る古典音楽喫茶の殿堂

完全立体ステレオ装置・全輸入盤演奏

名曲・珈琲

丘

